

出題範囲:be動詞・一般動詞・三単現・canの文(中1・1学期)	時間:45分	難易度:発展
----------------------------------	--------	--------

このテストのストーリー 4月、あなたのクラスにオーストラリアから転校生の Mia(ミア)が来ました。あなたはMiaのクラスメイトです。スピーチを聞き、チャットで話し、部活をすすめ、友だちを紹介する――すべての問題が「Miaと友だちになるための英語」です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。相手や目的を意識して、自分の言葉で表現しよう。

大問1 リスニング Miaのスピーチと校内案内の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 4月。転校生のMiaが自己紹介スピーチをします(Part A)。そのあとRikuがMiaに校内を案内します(Part B)。学級新聞係のあなたは、メモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Miaの自己紹介スピーチを聞いて、「Mia紹介カード」の空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

出身	(①)	毎日すること	(②)
できること	(③)	苦手なもの	(④)

⑤ スピーチの最後の「Miaからの質問」に答え、Miaへの質問やひとことを続けて、英語2文で書こう。(3点)

Part B 転入初日、RikuがMiaに校内を案内しています。2人の対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) 図書室で一度に借りられる本は何冊ですか。	()冊
(2) 2人が昼食を食べる場所はどこですか。 ア 食堂 イ 教室 ウ 体育館	()
(3) 剣道部が練習している場所はどこですか。 ア 図書室 イ 音楽室 ウ 体育館	()
(4) この対話のあと、2人が金曜日の放課後にしそうなことはどれですか。(3点) ア 図書室で本を借りる イ 体育館で剣道部の練習を見る ウ 教室で昼食を食べる	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

／16点

場面 Miaがクラスのグループチャットに参加しました。最初に話しかけたのはRikuです。

Mia: Hi! I'm Mia. Are you Riku?
Riku: Yes,(①). Welcome to our class!
Mia: Thank you! Riku,(②)you play any sports?
Riku: Yes, I play basketball. My sister (③) tennis.
Mia: Nice! I like sports too. I(④)swim 500 meters!
Riku: Wow!(⑤)your sister a student at our school?
Mia: No. She is seven. She (⑥) to elementary school.
Mia: By the way,(⑦)subject do you like?
Riku: I like music! We have a music class tomorrow.
Mia: Nice! I(⑧)like math. It's a little difficult.

※会話が成り立つように自分で考えて補おう。①は2語、ほかは1語。(各2点)

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧			

大問3 場面のやり取り Miaとの学校生活。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

／8点

場面 転入から1週間。あなたは毎日、いろいろな場面でMiaと英語でやり取りしています。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 授業中、消しゴムを忘れたことに気づきました。となりのMiaにお願いするなら？ ア Can you use my eraser? イ Can I use your eraser? ウ You can use my eraser.	()
(2) Miaの英語が速くて聞き取れませんでした。もう一度言ってほしいときは？ ア Pardon? イ I'm sorry. ウ See you.	()
(3) 給食の時間。Mia: "This is delicious! What is this?" みそしるだと教えてあげよう。 ア It's miso soup. イ I like miso soup. ウ Yes, it is.	()
(4) 帰り道でMiaと別れます。「また明日ね」と伝えるなら？ ア Nice to meet you. イ See you tomorrow. ウ Thank you very much.	()

大問4 資料の読み取り 2枚の部活ポスターを読んで、Miaの部活えらびを手伝おう。

知技・思判表

／18点

場面 Miaが部活動に興味をもっています。ろうかに、英語のポスターが2枚はってあります。

♪ MUSIC CLUB ♪ Do you like music? We sing and play many songs together. Practice: Monday, Wednesday, Friday Place: Music Room New members are welcome! Beginners are OK!	KENDO CLUB Kendo is a Japanese sport. It's cool! Practice: every day Place: Gym You can watch our practice on Friday. Please come!
---	---

Miaのひとこと "I want to join a club and make friends. I also want to watch Japanese sports some day!"

(1) ポスターから読み取ろう。(各2点)		
① 音楽部の練習は週に何回?	週()回	② 音楽部の練習場所は? ()
③ 剣道部の練習は?	ア 週3回 イ 毎日 ウ 金曜だけ ()	
(2) Miaのひとことに合うのはどちらの部ですか。(記号2点)	A MUSIC CLUB B KENDO CLUB ()	
そう考えた理由を、Miaのひとことと、ポスターの内容の両方にふれて日本語で書こう。(3点)		
(3) 「日本のスポーツを見てみたい」というMiaの希望に、ポスターのどの情報を使うとどう応えられますか。日本語で書こう。(3点)		
(4) (3)の内容を、英語1文でMiaに伝えよう。(4点)		

大問5 読解 1学期に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。

知技・思判表

/18点

場面 帰り道、Miaに「教科書でどんな話を読んだの?」と聞かれました。内容を思い出しながらかみ直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、1学期に学習した教科書の本文・対話文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～③(各2点)	①()②()③()
問3 下線部の語の意味を、前後の文から推測して選ぼう(3点)	()
問4 下線部について、理由や気持ちを、本文の言葉を手がかりに日本語で説明しよう。(3点)	
問5 本文のテーマについて、あなた自身のことを英語2文で書こう。(3点)	

1学期 定期テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問6 ライティング 掲示板的英語コーナーに、Miaに向けて友だち紹介カードを書こう。 知技・思判表 /10点

場面 Miaは「クラスみんなのことをもっと知りたい」と言っています。そこで教室の掲示板上に英語コーナー Meet My Friends! を作ることにしました。あなたは友だち1人(または先生)を紹介するカードを書きます。

条件 ①だれのことか(名前・呼び名) ②その人のすごいところ・できること を1つ以上 ③好きなこと・よくすること を1つ以上 ④Miaへの質問を1文 ⑤Miaがその人に話しかけたくなる「おすすめのひとこと」

35語程度の英語で。読み手(Mia)に伝わるかどうかも採点します。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Miaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

大問7 発展 Miaからのメッセージに返信しよう。 知技・思判表 /10点

場面 数日後、Miaからあなたに、こんなメッセージが届きました。

Hi! Thank you for the nice card. Now I want to know about YOU!
What do you do after school? And what can we do together next weekend?
Tell me! - Mia

Miaの2つの質問に答え、Miaをさそうひとことを加えて、3文以上の英語で返信を書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Miaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド／？ ☐ 動詞の形(三単現のs・canのあとは原形) ☐ 読む相手(Mia)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 53点／思考・判断・表現 47点(発展版は記述・統合を増やし思判表を厚めに)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	転校生のスピーチと校内案内の対話を聞き、紹介カード作成・情報整理をする	必要な情報の聞き取り(知技)／状況からの判断・聞いて自分のことを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	転校生とのグループチャット・メモが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で be動詞・一般動詞・三単現・can・疑問詞・否定を正しく使う	知技	16(2点×8)
大問3	学校生活の場面(ろうか・授業中・給食・下校)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて定型表現を選択する	思判表	8(2点×4)
大問4	部活ポスター2枚を読み、転校生の希望に合う情報を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	18(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書本文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→推論→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／本文をふまえて表現する(思判表)	知技・思判表	18(2点×3・3点×4)
大問6	掲示板の英語コーナーに、転校生に向けて友だち紹介カードを書く	条件に沿って、読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)
大問7	転校生からのメッセージを読んで返信を書く	読んで理解したことに応じて書く(読む→書くの統合)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Miaの自己紹介スピーチ) Hello, everyone. I'm Mia Brown. Please call me Mia. (2sec) I'm from Sydney, Australia. (2sec) I like music very much. I play the guitar every day. (3sec) I can't play the piano, but I can sing well. (3sec) I don't like natto. Sorry! (2sec) Now, I have a question for you. What sport do you like? (3sec) Please talk to me after class. Thank you! Part B(RikuがMiaに校内を案内する対話) Riku: Mia, this is our library. You can read and borrow books here. (2sec) Mia: Nice! How many books can I borrow? (2sec) Riku: Two books, for one week. (2sec) Mia: I see. Riku, where do you eat lunch? In a cafeteria? (2sec) Riku: We don't have a cafeteria. We eat lunch in our classroom. (2sec) Mia: Really? That's new to me! (2sec) Riku: And this is the gym. The kendo club practices here every day. (2sec) Mia: Cool! I want to watch their practice! (2sec) Riku: Then let's come here on Friday after school. (2sec) Mia: Yes, let's!
--

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①シドニー(オーストラリア) ②ギターをひく ③歌をうまく歌える ④なっとう ⑤例:I like soccer.(発展版は2文目に Do you like soccer, Mia? など質問・ひとことがあれば満点) B:(1) 2冊 (2) イ (3) ウ (4) イ
大問2	① I am ② Do ③ plays ④ can ⑤ Is ⑥ goes ⑦ What ⑧ don't ⑨ starts ⑩ have ※②は Can も許容(応答と自然につながるため減点しない)。⑩は形を変えない(三単現の主語ではない)ことを見る問題。許容解は採点前に決めて採点者間でそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) ア (2) イ (3) ア (4) ア (5) イ / 発展版(挨拶の場面を除く4問):(1) イ (2) ア (3) ア (4) イ
大問4	(1) ①週3回 ②音楽室 ③イ ④金曜日 (2) A / 理由:Miaのひとこと(友だちを作りたい・音楽好き)とポスター(いっしょに歌う・初心者OK)の両方への言及で満点、片方のみは部分点(2点) (3) 金曜日に剣道部の練習を見学できると伝える (4) 例:You can watch kendo practice on Friday. Let's go together!(ポスターの情報を使った1文なら可。英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	Miaにクラスの友だちを知ってもらうという目的に応じて、条件(人物・できること・好きなことなど)を含む紹介文を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Mia)が話しかけたくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。・「canを使って」のような言語材料の指定はしない。「すごいところ・できること」という内容条件が can を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の評価)。・cの生徒への手立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Mia を自校のALTや設定上の転校生に、Riku を生徒になじむ名前に、部活・場所を自校に実在するものに差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	三単現が未習の学校は、大問2の③を My sister(is)a tennis fan., ⑥を She(can)play tennis well., ⑨⑩を be動詞の空所に差し替える。
大問5の本文	1学期に学習した範囲の本文・対話文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。変えるときは設計表の観点バランスを保つ。

